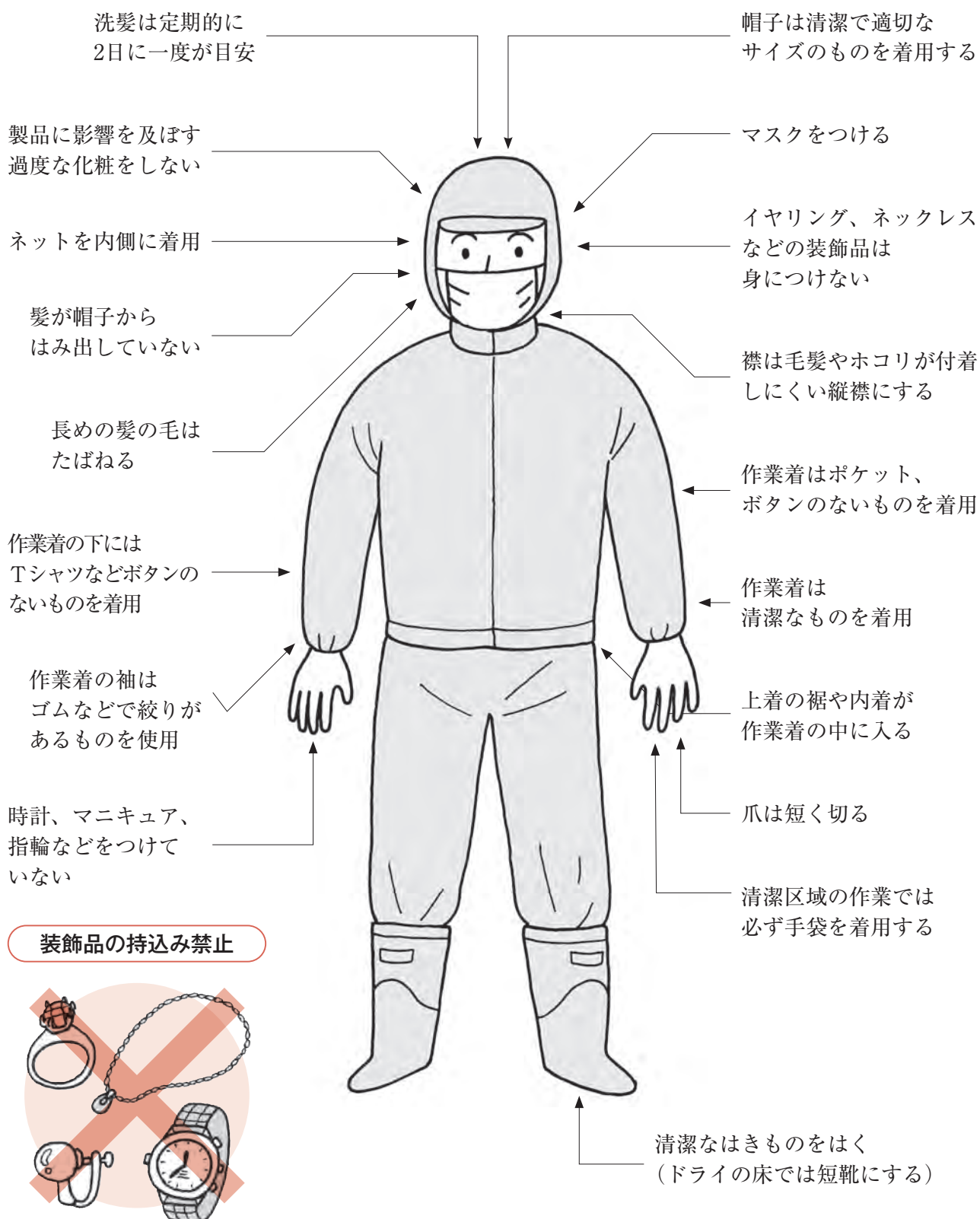


5 従業員の管理

① 入場時の衛生チェック

① 製造室に入場する時には、製品への二次汚染とならない清潔な作業着の着用や異物混入となる可能性のある装飾品の持ち込み禁止などの注意点を従業員へ周知しましょう。



② 健康チェック

安全な製品を作るには、製造に携わる作業員が健康でなければなりません。そのため製造室に入場する前に健康状態をチェックする必要があります。

具体的には表に示した事項についてチェックを行います。従業員が各自で自己チェックする方法と他の人とお互いチェックし合う方法とがあります。自己チェックでも各自が責任をもって行えばよいのですが、どうしてもチェックが甘くなってしまう傾向がありますので、できるだけお互いにチェックし合う方法の方が良いでしょう。

チェックは、作業着など服装の着用状況と健康状態について必要とされる事項を確認します。確認した結果はチェック表に記録し、管理を行っている証拠とするとともに従業員の意識の向上に役立てます。

また、健康状態に問題がある場合は、単にチェックするのみでなく、職場の責任者へ報告し指示を受けることを周知しておくことが重要です。

従業員管理
入場時衛生チェック表

氏名	4日(火)									5日(木)								
	身なり					健康				身なり					健康			
	帽子	マスク	作業着	長靴	前掛	爪	下痢	せき	怪我	帽子	マスク	作業着	長靴	前掛	爪	下痢	せき	怪我
鈴木 あい	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
佐藤 みどり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山田 さやか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
高橋 いさる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
加藤 かずこ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
備考	鈴木さんに爪を切らせた。 (中村)									山田さんに長靴を洗わせた。 (山田)								

検便と健康診断

食品工場の従業員は、法令やガイドラインなどで定められた頻度で検便と健康診断の受診が義務付けされています。検便や健康診断は、有害微生物や肝炎などのウイルスを体内に保持していても症状が出ていない健康保菌者を発見するために有効な検査ですので、必ず実施しましょう。また、検便や健康診断で問題が発見されたら、該当する従業員を直接食品に触れる作業からはずすなどの適切な処置が必要です。処置について自社で判断がつかないような場合は、管轄の保健所に相談するようにしましょう。



② 作業服の着用

作業着や帽子の着用は、衛生面や毛髪などの異物混入を防止するために正しい方法で行いましょう。一般的には次の手順で着用します。

1



まず髪の毛をブラッシングし、抜け毛を落とします。また洗髪は2日に一度は最低行い、抜け毛を少なくするようにします。

2

内ネットは頭の形状にあったタイプの電しゃく帽がよい。



髪の毛のはみ出しが無いように内ネットをかぶる。内ネットの大きさが合わないとはみ出しの原因になるのでサイズのあったものを使用します。

3



正しく帽子をかぶる。マジックテープ等でしっかり止め顔と帽子の間に隙間がないようにします。帽子は作業着の上着に入れられる裾長タイプが良い。

4



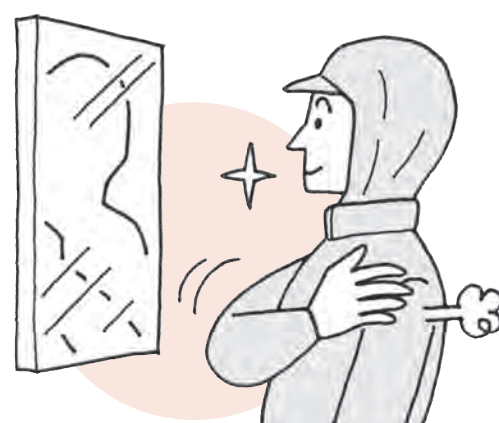
作業ズボンをはく。ズボンのすそが床のホコリに付かないようにする。

5



作業着を着用する。作業着の着用は帽子を被った後に行う。作業着に糸くず、毛髪等がないか確認します。

6



正しく着用されているか、髪の毛が付着していないか鏡で確認します。

③ 毛髪混入防止

① 粘着ローラー掛けによる毛髪除去

製品への毛髪の混入は、危害異物にはならないもののお客様に不愉快な思いをさせてしまう苦情として防止対策が重要となります。

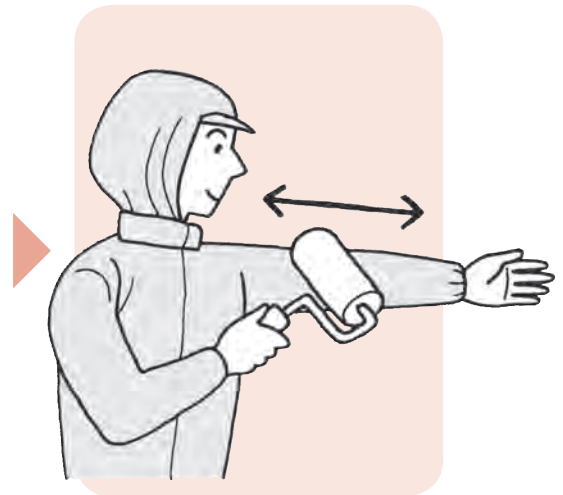
防止対策の中でも必須となるのが、粘着ローラーによる毛髪の除去です。粘着ローラーによる除去は、正しい方法で行われなければ効果が期待できませんので、次のような方法で行うと良いでしょう。



1 頭から。
頭上、頭横、頭後ろと
かける。



2 肩のあたりは入念に。



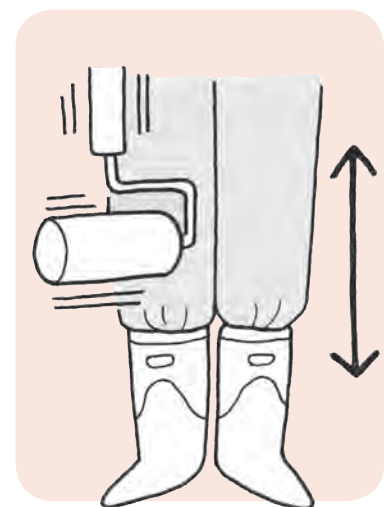
3 肩から腕の先に向けて。
脇の下から内側、外側
もかける。



4 胸から腹に。



5 背中は見鏡を見るか、二
人でかける



6 腰から足の先に向けて。
足の内側、外側、後ろ
側もかける。

② エアーシャワーによる毛髪除去

食品工場においてもエアーシャワーが普及し、多くの工場に設置されるようになりました。

エアーシャワーによる毛髪除去を効果的に行うためには、次の事項に留意することが必要です。

- ・ エアーシャワーによる毛髪の除去率は約75%と言われています。このため、エアーシャワー通過後に粘着ローラー掛けをすることによりさらに効果が上がります。
- ・ エアーシャワーを効果的に使うためには、風の吹き出し口の方向、風速および吹き出す時間を適切に設定することが重要です。
- ・ 風で除去した毛髪は、下部に設置してある集塵フィルターに集められますが、このフィルターの清掃ができていないと、一旦除去した毛髪を再び付着させてしまうことになります。
また、エアーシャワー室の壁面に粘着シートを貼り付けておくと、風によって除去された毛髪は粘着シートに付着して巻き上がるのがなくなります。
- ・ エアーシャワー室の床部は、風で落下した毛髪を巻き上げないために、長靴を使うウェットな製造室の場合はステンレス製のスノコを、短靴を使うドライな包装室の場合は粘着シートを床面に設置すると良いでしょう。

● エアーシャワー室のスリット床
(ウェット)



● エアーシャワー室の粘着シート
(ドライ)



④ 正しい手洗いの方法

正しい手洗いをを行うためのポイントは、決められた方法を遵守して丁寧に行うことです。
ここでは一般的に行われている手洗いをモデルとして紹介します。

